【９月１日（火）】AI 時代だからこその学び

８年生の国語の授業にぶらっとお邪魔しました。ちょうど昨日実施したテストの振り返りをしており、分からない語句の意味を辞書で調べる活動を行っていました。

AI の進歩により、分からないことをすぐに検索できる時代になりましたが、その一方で、辞書を引く経験に慣れていない子どもたちがいることも事実です。ページをめくりながら目的の語句を探す姿は、決して簡単なものではありません。それでも子どもたちは悪戦苦闘しながら、一生懸命に言葉と向き合っていました。

そんな中、誰よりも早く語句を見つけた生徒が、うれしそうな表情で「先生、見つけました！」と報告していました。その声には、答えを見つけた達成感と喜びがあふれていました。

便利な道具が増えた今だからこそ、自分の手で調べ、自分の力で発見する経験の大切さを改めて感じました。子どもたちの生き生きとした姿から、学ぶことの楽しさを実感できた時間となりました。





【９月１日（火)】通常日程がスタートしました

　今日から学校は通常日程となりました。昼休みには、暑さの残る中でも子どもたちは元気いっぱいに友だちと遊び、運動場や校庭には楽しそうな声が響いていました。

　また、２学期の掃除も始まりました。子どもたちは時間いっぱい熱心に掃除に取り組み、終了後には班ごとに反省会を行い、自分たちの活動をしっかりと振り返っていました。

　４年生は、１０月２７日（火）に開催される玖南地区音楽会に向けて、合同練習をスタートさせました。友だちと声や気持ちを合わせながら、よりよい発表を目指して練習に励んでいます。

　２学期は、学校教育目標「あい」に込められた「～合い」を大切にしながら、互いに支え合い、高め合い、認め合う中で、一人ひとりが大きく成長してくれることを期待しています。





【９月２日（水)】机上の「消しカス」が教えてくれたこと

　授業後、9 年生の教室をのぞいてみると、いくつかの机の上で消しゴムのかすがきれいに端へまとめられていました。最初は何気ない光景に見えましたが、「床に払い落とすのではなく、後でゴミ箱に捨てようとしているのだな」と気付き、心が温かくなりました。

　先生方に尋ねてみても、特別にそのような指導をしているわけではないとのことでした。生徒たちの自然な思いやりや美しい感性に感心させられます。

　このような姿は、学校教育だけで育まれるものではありません。日頃からご家庭で大切に育まれている思いやりや公共心が、生徒たちの行動に表れているのだと思います。

　本校の生徒たちを支えてくださっている保護者の皆様の教育力の素晴らしさに、心より感謝申し上げます。









【９月２日（水)】１年生図工　造形遊び

　１年生が図工の時間に、１０００個の紙コップを使った造形遊びに取り組みました。子どもたちは、それぞれに配られた紙コップを使い、タワーや家、迷路など、思い思いの作品づくりを楽しんでいました。

　活動の前半は、一人ひとりが自分のアイデアを形にしていましたが、後半になると「もっと大きなものを作りたい」「みんなでつなげてみよう」という声が自然とあがり、数人で紙コップを持ち寄って協力しながら作品づくりを始めました。すると、一人では作れないような大きく迫力のある作品が次々と完成しました。

　子どもたちは、友だちと力を合わせることで、より素晴らしいものができることを体験を通して学んだようです。学校は学力を身に付けるだけでなく、集団のよさや仲間と協力することの大切さを学ぶ場でもあります。

　これからも子どもたちには、友だちと支え合い、認め合い、高め合うといった「～し合う」活動を大切にしながら、仲間とともに成長していってほしいと思います。







【９月３日（木)】東っ子とともに、教師も成長中

本校では、「やまぐちっ子の心を育む道徳教育プロジェクト」の指定校として、教職員が一丸となって道徳教育の研究を進めています。

本日の 2 時間目には、田村教諭が 9 月 9 日の研究授業に向けたプレ授業を 9 年 1 組で実施しました。

東っ子たちのより豊かな心の育ちを願い、先生方も日々研鑽を重ねています。









【９月３日（木)】身体測定と保健指導を行いました

２学期に入り、各学年で身体測定を行っています。夏休み明けに子どもたちと再会すると、「大きくなったなあ」と感じる児童がたくさんいました。実際に４月の記録と比べると、それぞれの成長がよく分かり、「〇cm 伸びたよ」とうれしそうに教えてくれる姿も見られました。

また、身体測定に合わせて、養護教諭による熱中症予防とストレートネックについての保健指導を行いました。ストレートネックは、デジタル機器の長時間使用などが原因の一つとされています。自分の健康について正しく理解し、生活習慣を見直しながら、自ら健康を守る力を身に付けてほしいと思います。





【9 月 4 日（金）】7 年生フロアにごめんあそばせ

入学して 5 か月。7 年生の生徒たちは、心も体も着実に成長しています。

7 年 1 組は、体育の授業後ということもあり、少し疲れた様子も見られましたが、川本教頭先生の軽妙な語り口に引き込まれながら、「武士の登場」について学習していました。まるで平安時代へタイムスリップしたかのように、生徒たちは興味深く授業に参加していました。

7 年 2 組は家庭科の授業です。重岩教諭が、生徒との対話を大切にしながら、「バランスのよい献立を作成するために必要な手順や要素を理解すること」を本時のめあてとして授業を進めていました。生徒たちは積極的に考え、自分の考えを表現しながら学びを深めていました。東中学校には、生徒の知的好奇心を刺激する授業があり、学びに向かう生徒の姿があります。

そして、授業だけではありません。廊下では、生活ノートに丁寧にコメントを書く片山教諭の姿がありました。また、どの学年でも先生方が空き時間や休み時間に廊下にいて、生徒の見守りを行っています。これは東中学校ではごく当たり前の光景です。

空き教室の整頓よし。トイレのスリッパの整頓よし。こうした日常の積み重ねが、生徒たちの成長につながっています。「教育の成果＝生徒の姿」



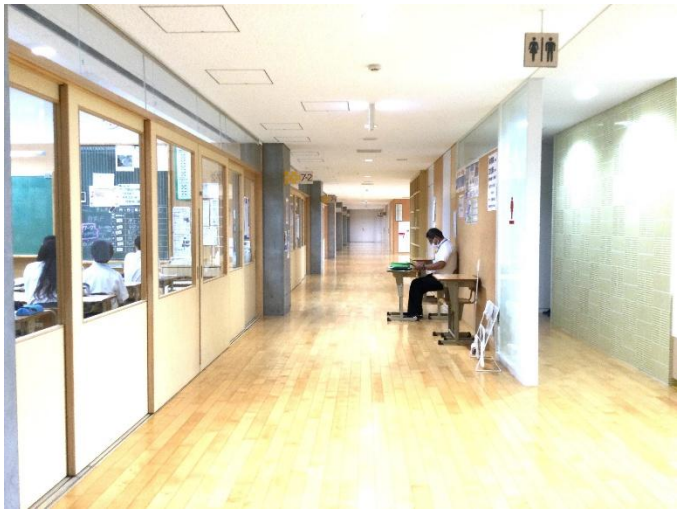












【9月4日（金）】3年算数「長さ」の学習

3年生の算数では「長さ」について学習しています。2年生でもものさしを使って身近なものの長さを測ってきましたが、3年生では、より長いものを測ることができる巻き尺を使います。

この日は、100mがどのくらいの長さなのかを予想し、実際に巻き尺を使って確かめる学習を行いました。子どもたちは廊下の中で「ここが 100mくらいかな」と思う場所に座り、先生が持つ巻き尺が伸びていく様子を見守りました。すると、予想がほぼぴったりだった児童が2名おり、周りから大きな歓声が上がっていました。

実際に測る体験を通して、長さの感覚を実感として身に付けることができます。このような学習ができるのも、長い廊下をもつ東小中ならではです。子どもたちは楽しみながら、100mという長さについて学ぶことができました。







【９月７日（月)】８年生フロアに「ごめんあそばせ」

先週金曜日の７年生に続き、本日は８年生のフロアをブラブラしました。

２組の国語の授業では、伊坂幸太郎氏の作品を題材に、「登場人物の言動の意味を考えよう」というめあてのもと、生徒たちとの対話を重ねながら学習が進められていました。生徒一人一人が文章を丁寧に読み取り、登場人物の心情や行動の意味について考えを深めていました。

１組の理科では、「直列回路と並列回路の電流の流れ方の違い」ついての学習をしていました。生徒たちは学習プリントの課題に真剣に向き合い、難しい問題にも粘り強く取り組んでいました。解答できた生徒は教科担当の先生のもとへ行き、自分の考えを説明しながら解答を確認していました。学んだことを相手に分かりやすく伝える力は、これからの社会で求められる大切な資質・能力の一つです。そのような姿が自然に見られたことを大変頼もしく感じました。

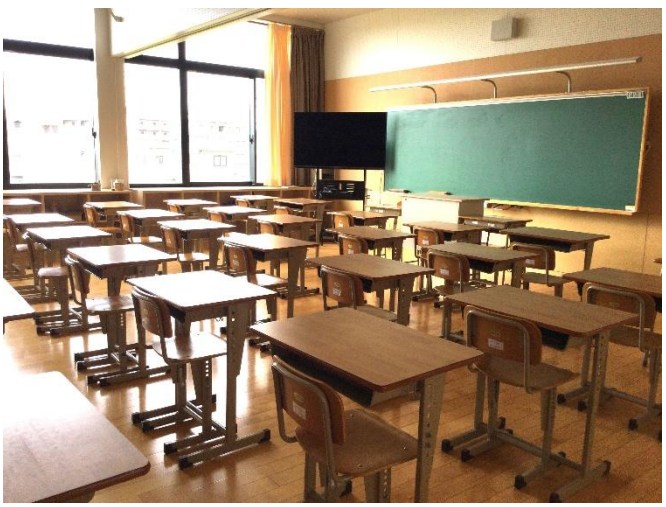
また、７年生同様、空き教室やトイレのスリッパの整頓も行き届いていました。日頃から学校生活を大切にしようとする８年生の意識の高さが感じられ、さすが８年生だと感心しました。学習面だけでなく、学校生活の様々な場面で、最上級生へと向かう成長が垣間見られました。

次回は、いよいよ９年生フロアに「ごめんあそばせ」。

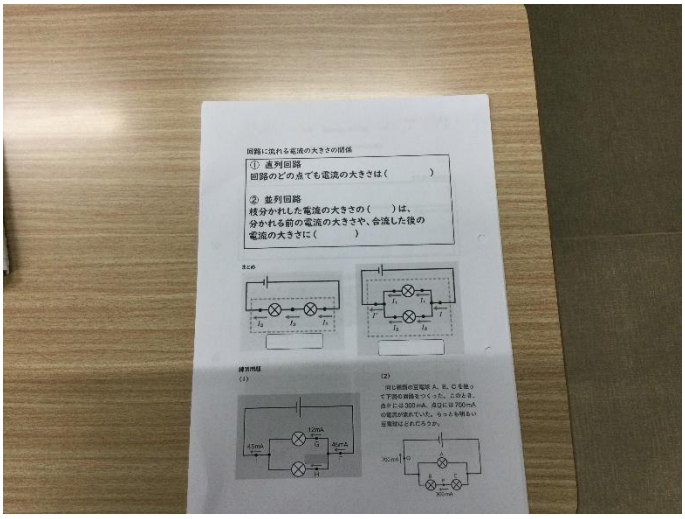












回路に流れる電流の大きさの関係

① 直列回路
回路のどの点でも電流の大きさは（　　）

② 並列回路
枝分かれした電流の大きさの（　　）は、
分かれる前の電流の大きさや、合流した後の
電流の大きさに（　　）

まとめ

練習問題

(1)

(2)

【９月７日（月）】運動会練習がはじまりました

今日から、１０月１０日（土）に開催される運動会に向けた練習が始まりました。

５・６年生は表現種目として、フラッグと組体操に取り組みます。アリーナに集合し、今年度の演技で使用する曲や内容について説明を受けた後、早速組体操の練習に入りました。今日は個人技の練習が中心でしたが、子どもたちは真剣な表情で一つ一つの動きを確認しながら取り組んでいました。

これから本番に向けて、どの学年も表現や競技、応援などの練習が本格化していきます。一人ひとりが力いっぱい頑張るとともに、仲間と支え合いながら成長していく姿を期待しています。

まだまだ暑い日が続きますので、熱中症予防のため、お茶やタオルの準備などへのご協力をよろしくお願いいたします。






【9 月 7 日（月)】いじめはつまらん。ほんまにつまらん。

本校では、いじめを決して許さないという強い姿勢のもと、全教職員でいじめ防止に取り組んでいます。

昨年度も生徒指導主任から話をしましたが、今年度も生徒集会の時間を利用して、「いじめの定義」や「いじめ防止基本方針」について説明し、理解を深める機会を設けました。いじめ問題においては、未然防止、早期発見、そして早期対応が何よりも大切です。日頃から生徒一人一人の様子を丁寧に見守り、小さな変化やサインを見逃さないよう努めています。

万が一、いじめ事案が発生した場合には、被害を受けた生徒の心身の安全を最優先に守り、迅速かつ組織的に対応します。また、事案の内容に応じて、校長が必要と判断した場合には、警察や関係機関と緊密に連携し、適切な対応を進めてまいります。

一方で、本校は被害を受けた生徒を全力で守るとともに、加害と言われる生徒が本校の生徒であるならば、その生徒を見捨てることは絶対にしません。保護者の方と協力し、なぜそのような行動に至ったのかを丁寧に見つめ直し、反省と成長を支えながら、再びよりよい学校生活を送ることができるよう指導と支援を行います。

生徒一人一人が安心して学び、互いを尊重し合える学校づくりに向けて、今後も家庭や地域、関係機関と連携しながら、いじめ防止に全力で取り組んでまいります。

なお、「東中いじめ防止基本方針」は、ホームページにも掲載しております。どうぞ、ご覧くださいませ。





【9 月 8 日（火）】英語暗唱・弁論大会に挑む

本日、「いこいと学びの交流テラス」において、令和 8 年度英語暗唱・弁論大会第 7 地区予選会が開催されました。本校からは、暗唱の部に 7 年生の村本啓太さん、弁論の部に 9 年生の森重涼葉さんが出場しました。森重さんは昨年に続き、2 年連続の出場となりました。

2 人は、英語科の先生方や ALT の先生から熱心なご指導をいただきながら、1 学期後半から練習を開始しました。夏休みにも登校して練習を重ね、2 学期に入ってからも放課後の時間を活用しながら、本番に向けて努力を続けてきました。自ら挑戦する一歩を踏み出し、最後までやり遂げたことは大変立派なことです。大会には英語表現力に優れた生徒が数多く参加していました。そのような中で、2 人とも、これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮し、一生懸命に自分の思いや作品の世界観を表現していました。

結果については、それぞれに思うところがあるかもしれません。しかし、私は、何よりも今日まで粘り強く努力を続けてきたその過程にこそ大きな価値があると感じています。勇気をもって挑戦し、多くの学びと経験を得た 2 人に心から拍手を送りたいのです。

ちなみに、9 年生の森重涼葉さんが、弁論の部で、見事 4 位入賞を果たしました。Congratulation！










【９月８日（火）】2年生がお兄さん・お姉さんとして活躍しています

昨日から、1・2 年生による縦割り班掃除が始まりました。

東小・中学校ではこれまで、1 年生から 9 年生までの縦割り班による清掃活動を行ってきましたが、今回は 1・2 年生だけで取り組んでいます。

中学生と一緒に活動する際には、1・2 年生は教えてもらう立場になることが多いのですが、今回の活動では、2 年生が 1 年生に掃除の仕方を優しく教えたり、お手本を見せたりするなど、お兄さん・お姉さんとして活躍する場面が多く見られました。

1 年生からは、「やさしく教えてもらった」「2 年生みたいになりたい」「まねしてみたい」といった声も聞かれています。また、2 年生も、どのように伝えれば分かりやすいかを考えながら行動するなど、上級生としての責任感をもって取り組んでいました。

異学年での活動は、上級生へのあこがれや思いやりの心を育みます。こうした「あこがれの連鎖」が受け継がれ、東小・中学校のよき伝統として根付いていくことを期待しています。







【9 月 9 日（水)】多い？少ない？いや、ありがたい！

先週金曜日に予定していた「東中学校あいさつ運動」は、悪天候が予想されたため、本日に延期して実施しました。

本校では、「3 つの柱」の一つとして「岩国市 NO.1 のあいさつ」を掲げています。今回のあいさつ運動には、約 25 名の生徒が参加してくれました。この人数を多いと見るか少ないと見るかは、人それぞれかもしれません。

しかし、私は人数以上に、自ら考え、自らの感性を働かせて参加を決めた生徒たちの姿を大変うれしく思います。早朝にもかかわらず、地域や仲間のために行動しようとしたその気持ちに心から感謝しています。

私は、こうした豊かな感性の多くは家庭教育の中で育まれているものだと強く感じています。子どもたちは日々の生活の中で、家族の姿や言葉から多くを学びます。今回参加してくれた生徒たちの行動の背景には、ご家庭で大切に育てられてきた思いや価値観が息づいているのではないでしょうか。

「あいさつ」は人と人とをつなぐ第一歩です。これからも、生徒一人一人が気持ちのよいあいさつを通して、学校や地域を明るく元気にしてくれることを期待しています。













【９月９日（水)】生徒とともに・・・

9 月 3 日にお知らせしました研究授業の日がやってまいりました。

当日を迎えるまでには、指導案の検討会を重ね、授業のねらいや展開について教職員同士で活発に意見を交わしてきました。子どもたちがより深く考え、学べる授業となるよう、教師自身も学び続けながら準備を進めてきたところです。

そして迎えた本番。東っ子たちは涼しい顔で授業に臨んでいましたが、授業者の田村教諭はかなり緊張した様子でした。

今回の題材は、「親友と語り合った『孤独の解消』」。ねらいは、さまざまなものの見方や考え方があることを理解し、他者と共に生きようとする道徳的心情を育むことにあります。

果たして、そのねらいに迫ることができた授業だったのか否か。その答えは、忖度のない東っ子たちがきっと示してくれることでしょう。

教師も生徒たちも、日々成長の途上にあります。これからも教師と生徒が互いに学び合いながら、一歩ずつ前進していきたいと思います。

















【９月９日（水)】５年生家庭科「裁縫の学習」

５年生の家庭科では、裁縫の学習に取り組んでいます。手縫いの基本となる玉結びや玉留めから始まり、今日はなみ縫いの練習を行っていました。子どもたちは、針と糸を上手に扱いながら、一針一針ていねいに縫い進めていました。

今後は、ボタンやスナップの取り付けなど、さらにさまざまな技能を学んでいく予定です。裁縫の技能は、衣服のほころびを直したり、身の回りのものを手入れしたりするなど、将来の生活の中でも役立ちます。ぜひ基礎をしっかりと身に付け、日常生活に生かしてほしいと思います。



【9 月 10 日（木)】これが東中の強みです

昨日、田村先生の道徳科研究授業の様子をお知らせしました。本日は、授業後に行われた研究協議の様子を紹介します。

協議会には、昨年度から本校の道徳教育の研修を支えていただいているサマンサジャパン株式会社の温品賢二様を指導助言者としてお招きしました。また、岩国地区道徳教育研究部会の先生方にもご参加いただき、本校職員とともに授業について熱心な協議を行いました。各グループからは、授業の成果や改善点、子どもたちの学びの姿について多くの意見が出され、私自身も大変勉強になりました。

しかし、私が最も心に残ったのは、授業者である田村教諭の自評でした。田村教諭は、「授業に集中できていない生徒がいた。どうすればその生徒が授業に参加し、考え始めることができるのか、それが授業中ずっと頭にあった」と話されていました。生徒が授業に集中できないのは、その生徒のせいではない。まずは自分の授業の組み立てや投げかけ方に改善の余地はなかったかを考える。乗りきれない生徒をそのままにしてしまった自分自身の責任について考える。そのような言葉が語られました。

私は、「これだ」と思いました。教師という仕事は、ともすると子どもに原因を求めてしまいがちです。しかし、本当に大切なのは、まず自分自身を振り返ることです。「子どもが悪い」ではなく、「自分にできることはなかったか」と考えることです。この姿勢こそが教育の原点であり、本校の強みでもあります。

東中学校の教職員は、授業がうまくいったときも、そうでなかったときも、まず自分自身の実践を見つめ直します。そして、子どもたち一人一人の学びを保障するために何ができるかを考え続けています。子どもを変えようとする前に、まず自分を見つめ直す。「一人も見捨てるもんか！」この姿勢を全教職員が共有していることこそ、東中学校の最大の強みなのです。






「あい」ある生徒を育てる
3か条
1
2
3
進







【9 月 10 日（木)】「バタフライエフェクト！」いよいよです

9 月 26 日開催の東中体育祭に向け、本日、記念すべき第 80 回大会の結団式を行いました。

司会進行を務めた実行委員の岩岡咲和さんは、落ち着いた進行と的確な呼びかけで会を見事にまとめ上げ、結団式を引き締まった雰囲気で進めてくれました。

また、実行委員長の村本琴音さん、篠原桜虎さんによる力強い決意表明からは、体育祭成功に向けた熱い思いが伝わってきました。

式では、美術部が作成した今年度のスローガン 「全力飛翔 ～東中の誇りを胸に、未来へ羽ばたけ～」 の横断幕も披露されました。迫力満点の作品に、生徒たちから大きな拍手が送られました。

続いて応援隊長・副隊長の紹介と決意表明が行われました。

赤組　隊長：浜田恵太さん　副隊長：池田なるさん

白組　隊長：大江栞奈さん　副隊長：奥元珀翔さん

それぞれが仲間を鼓舞する力強い言葉を述べ、会場の士気は一気に高まりました。さらに、各実行委員や応援リーダーの紹介も行われ、体育祭成功に向けた体制が整いました。

いよいよ明日の 4 校時から、本格的な体育祭練習と挑戦が始まります。一人ひとりの小さな羽ばたきが大きな成果につながることを信じ、東っ子らしく全力で取り組んでほしいのです。東っ子たちのさらなる成長に、どうぞご期待ください。

タイトルの「バタフライエフェクト！」に込めた思いについては、9 月 24 日発行の学校だより「校長のつぶやき」で紹介しています。ぜひご一読ください。













【目指す体育祭】
生徒が中心となり、
生徒が創り上げる体育祭





【９月１０日（木）】２学期最初の参観日

今日は２学期最初の参観日でした。子どもたちは、お家の方に頑張る姿を見てもらえることを楽しみにしており、朝から張り切った様子が見られました。

参観授業では、「発表したい！」という気持ちがあふれ、いつも以上に元気よく手を挙げたり返事をしたりする姿が印象的でした。また、保護者の方と一緒に活動に取り組む授業もあり、子どもたちのうれしそうな表情や微笑ましい場面も見られました。

多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの学習の様子や、ＩＣＴを活用した授業をご覧いただけたことを大変うれしく思います。

また、参観授業に先立って給食試食会を実施しました。日頃子どもたちが食べている給食を実際に味わっていただくとともに、ひがし学園ならではのメニューを通して、本校が大切にしている食育への理解を深めていただく機会となりました。

ぜひご家庭でも、今日の学習や給食のことを話題にしながら、お子様の頑張りをたくさん褒めてあげてください。多くのご参観、ありがとうございました。







【９月１１日（金)】９年生フロアに「ごめんあそばせ」

本日は、7・8 年生に続いて 9 年生のフロアをブラブラと。生徒のいない教室はどこもきれいに整頓されていました。また、日頃英語科で使用している教室も整えられており、学習環境を大切にする 9 年生の意識の高さが伝わってきます。さらに、ロッカーの中まで整理整頓が行き届いており、「さすが東中学校のロールモデル」と呼ぶにふさわしい姿があちらこちらで見られました。

1 組では美術の授業で篆刻（てんこく）制作に取り組んでいました。真剣な表情で石と向き合い、一人一人が集中して作品づくりを進める姿が印象的でした。

2 組では、先日の道徳の研究授業でも紹介したクラスで、今日は担任の田村教諭による社会科の授業が行われていました。

落ち着いた雰囲気の中で学びに向かう姿から、学級の成長が感じられました。

最高学年としての自覚と誇りをもち、後輩たちの手本となっている 9 年生。その成長ぶりには本当に目を見張るものがあります。その思いは、今日の学年主任からのボードメッセージにも表れています。東中学校を力強く支える頼もしい 9 年生の姿に、うれしい気持ちになったひとときでした。





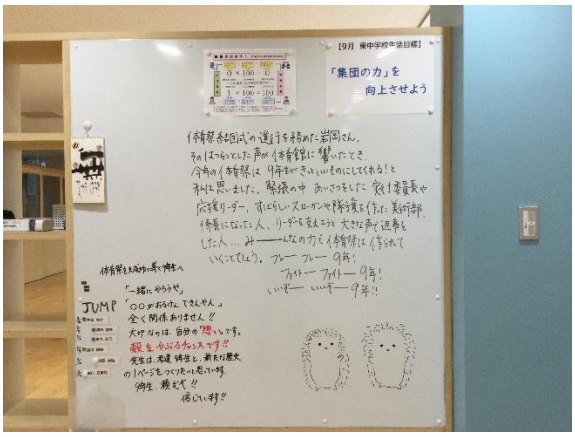







雲外蒼天




【9月 東中学校年度目標】
「集団の力」を
向上させよう
JUMP
「○○がない。できない。」
全く関係ありません!!
大切なのは、自分の"想い"です。
親をやぶるチャンス!!
先生は、先達 後生と、新たな歴史
の1ページをつくりたいと思います。
後生 期ず!!
楽しい時!!

【９月１１日（金）】運動会　団長・副団長オーディション

先に決定している各団をまとめる 6 年生児童係 12 名の中から、団長に 6 名、副団長に 4 名が立候補し、自分が希望する役割への思いや意気込みを力強く語りました。

どの候補者からも、「自分が先頭に立って団をまとめたい」「みんなでよい団をつくりたい」という強い思いが伝わってきました。各団で団長 1 名、副団長 1 名しか選ばれませんが、人前で自分の考えを堂々と伝え、役割に挑戦しようとする姿は大変立派でした。

運動会は団長や副団長だけでつくり上げるものではありません。立候補した児童一人ひとりの思いを大切にしながら、全員で力を合わせて素晴らしい運動会を創り上げてほしいと思います。





【9 月 12 日（土）・13 日（日）】全力で挑戦、進んで貢献



区中学校新人大会が開催され、本校からはソフト
チーム）、そして地域クラブである岩国東ベース
）が出場しました。
ームにとって初めての公式戦となる「山口県新人

は、１回戦前半５分に先制しましたが、その後逆
女子ソフトテニス部は団体戦で接戦を繰り広げ
は男子２ペアが惜しくも初戦敗退（うち１ペアは
オープン参加）となりました。女子ソフトテニス部の２ペアは初戦を突破したものの、県大会出場につながるベスト 16 進出にはあと一歩及びませんでした。地域クラブの「岩国東ベースボールクラブ」は、決勝戦まで駒を進めましたが、県大会出場はかないませんでした。

県大会出場はかないませんでしたが、東っ子たちのはつらつとしたプレーが見られた一日となりました。応援していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

また、12 日には地域の敬老会が開催され、本校から 9 年生の藤田梨壱さんと 7 年生の山本爽一朗さんが受付ボランティアとして参加しました。自ら進んで地域のために行動しようとする姿勢は大変素晴らしく、学校としても誇りに思います。二人の温かい対応は、参加された皆様に安心と笑顔を届けたことと思います。

スポーツに全力で挑戦する姿、そして地域のために進んで貢献する姿。どちらにも、本校生徒の素晴らしさが表れています。これからもさまざまな場面で、自分らしく輝く東っ子たちを見守っていただきたいと思います。






















桂町
2丁目
桂町
1丁目

【9 月 14 日（月）】今日の「バタフライエフェクト！」

今週から通常授業をしばらく離れ、体育祭に向けた各種練習を中心とした「体育祭モード」に突入しました。昇降口の掲示物も体育祭一色となり、学校全体の雰囲気が一気に盛り上がっています。

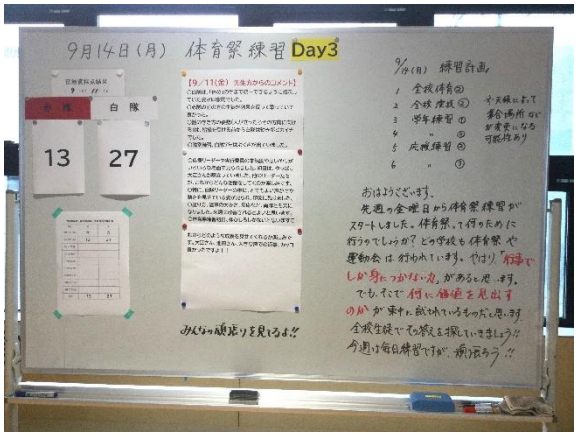
本日はあいにくの天候のため、予定していたグラウンドでの練習はできませんでしたが、各学年とも体育館や校舎内を活用しながら練習に励んでいました。

本校の体育祭は、「生徒の、生徒による、生徒のための体育祭」です。そのため、教員はできる限り口を出さず、実行委員や応援リーダーを中心とした生徒自身の力で運営・活動することを大切にしています。

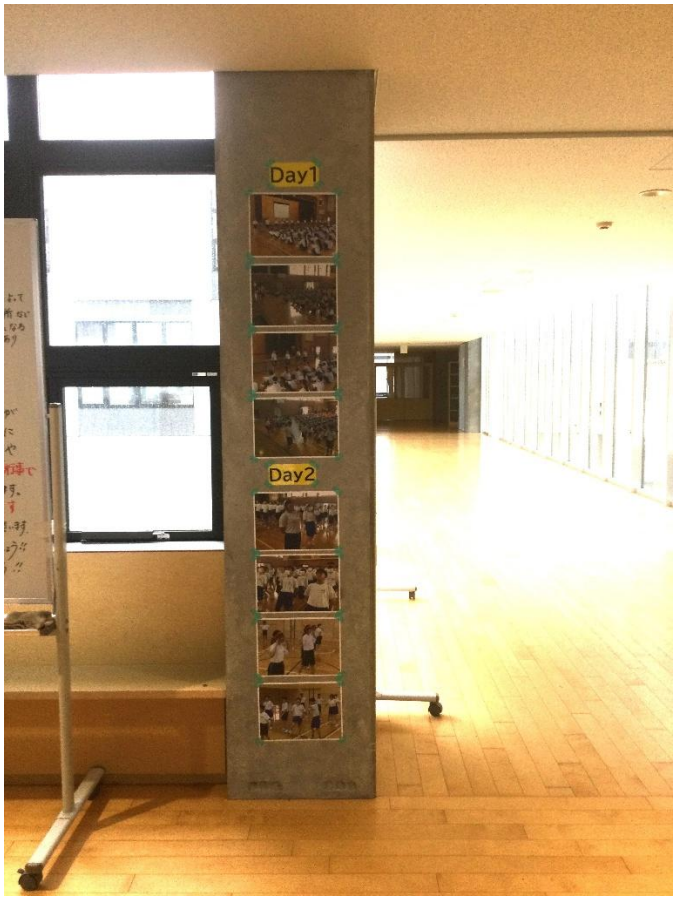
各学年では学年種目の練習も行われましたが、そこでは学年ごとの成長の違いがはっきりと表れていました。7 年生から学年が上がるにつれて、教員が関わる場面は少なくなり、9 年生ともなると自分たちで考え、判断し、行動する姿が見られます。

もちろん、初めて体育祭練習を経験する 7 年生は、まだ戸惑うことも多くあります。しかし、今の 9 年生も 2 年前は同じような姿でした。そのことを思うと、この 2 年間で積み重ねてきた成長の大きさを改めて実感します。9 年部の先生方も、生徒たちの頼もしい姿に大きな成長を感じているようでした。

体育祭練習はまだ始まったばかりです。一人一人の小さな挑戦や努力が、やがて大きな成果へとつながっていくことでしょう。「バタフライエフェクト！」生徒たちが起こす小さな一歩が、どのような大きな感動を生み出すのか、今からとても楽しみです。











【９月１４日（月)】未来の先生がやって来ました！！

本日から、東小・中学校出身の大学生が学校体験に来ています。これは、山口県教育委員会が進める「教員をめざす学生の学校体験制度」の取組で、教員という仕事の魅力を早い段階から実感し、教育への意欲を高めることを目的としています。

初日から子どもたちと積極的に関わり、休み時間には一緒に遊ぶ姿も見られました。子どもたちも年の近いお姉さんとの交流を楽しみ、笑顔で接する様子が印象的でした。

教職は楽しいことばかりではありませんが、子どもたちとの日々の関わりの中には大きな喜びややりがいがあります。今回の学校体験を通して、その魅力をたくさん感じてもらえればと思います。







【9 月 15 日（火)】今日の「バタフライエフェクト！」

　雨にも負けず、予定変更にも負けず、東っ子たちの応援練習は着実に前進しています。
　本日は午後からグランドでの練習が実現しました。広い空の下で声を出してみると、室内で感じていたものとの違いに驚いた人も多かったことでしょう。本番に向けて貴重な一歩となりました。

　今年はシルバーウイークを挟むため、練習時間は決して十分ではありません。さらに天候との戦いも続いています。しかし、東っ子たちはそんな状況を言い訳にしません。できない理由を探すのではなく、できる方法を考え、仲間と力を合わせて前へ進んでいます。

　私は、その姿こそ東っ子の誇りだと思います。苦労した分だけ、完成した応援は必ず見る人の心を動かします。どうか自分たちの力を信じ、最後まで全力で挑戦してください。
　「全力飛翔」頑張れ、東っ子！ 仲間とともに、最高の感動を創り出そう！





【９月１５日（火）】中学校教員による音楽指導

音楽祭に向けた４年生の音楽の授業で、中学校の音楽担当教員による合唱指導が行われました。

さすが音楽の専門家です。子どもたちの合唱を聴くとすぐに課題を見抜き、的確な指導が始まりました。まずは曲から受けるイメージを全員で共有し、その後、発声の仕方や声の響かせ方について、小学生にも分かりやすい言葉や身近な例えを交えながら丁寧に説明されました。

また、子どもたちを引きつける話術も素晴らしく、子どもたちは次第に指導に引き込まれながら意欲的に練習に取り組んでいました。練習を重ねるごとに歌声は大きく変化し、授業の終わりには、最初とは比べものにならないほど美しく響く合唱へと成長していました。

今回の授業には他学年の教員も参観し、中学校教員の高い専門性に触れながら多くのことを学ぶ機会となりました。このような交流や学び合いが日常的に行えることは、小中一貫校である東小中学校ならではの大きな魅力です。

これからも中学校教員の専門性を生かした授業を通して、子どもたちの豊かな学びと成長につなげていきたいと思います。






【9 月 16 日（水)】教員をめざす学生さん、いらっしゃい！




東小学校と同様に、本校でも「教員をめざす学生の学校体験制度」により、大学生の梨川実咲さんが学校体験に来ています。

体育祭の練習を見守っていただいたり、生徒の学習支援をしていただいたりと、さまざまな場面で学校生活に関わっていただいています。7 年生の生徒たちもウキウキのランチタイム。

将来は教職を志しているとのことで、まさに未来の教育を担う「金の卵」です。5 日間という限られた期間ではありますが、本校での体験を通して、教師という仕事の魅力を感じるとともに、自身の理想とする教師像を大きく膨らませてほしいと思います。

さて、本日の「バタフライエフェクト！」です。

1 時間目は、体育祭の開閉会式の練習を行いました。近年は入場行進を行う学校も少なくなりましたが、ひと昔前には、隊列をそろえて堂々と行進することが体育祭指導の大きな柱でした。何周もグラウンドを行進する生徒たちの姿は、この時期ならではの風物詩だったものです。

一方、校歌の歌声は、まだ「さえずり」の段階でしょうか。しかし、東っ子たちはこのままでは終わりません。日頃から過程や準備を大切にしている東っ子たちですから、本番に向けての伸びしろは計り知れません。仲間と気持ちを合わせ、一つひとつ積み重ねながら成長していく姿を、ぜひ楽しみにしていてください。

体育祭当日には、力強い歌声と凛々しい姿をお届けできることと思います。「バタフライエフェクト！」








【９月１６日（水)】５．６年生運動会練習

久しぶりに天候が回復し、５・６年生が芝生グラウンドで集団演技の練習を行いました。隊形ごとの位置確認や、音楽のテンポに合わせた隊形移動など、屋内ではできない練習に取り組みました。

子どもたちは先生の指示をよく聞きながら、一人ひとりが自分のポジションを確認し、真剣な表情で練習に励んでいました。これから本番に向けて練習を重ねるごとでどんどん動きが揃い、シャープになっていくと思います。

運動会当日には、仲間と心を一つにした素晴らしい演技を披露してくれることを期待しています。







【９月１７日（木）】休み時間は虫とりに夢中！

最近の休み時間、低学年の子どもたちの間で人気なのが「虫とり」です。休み時間になると、虫かごを片手に学校内の畑周辺へ集まり、赤白帽子を網の代わりにしてトンボやチョウ、バッタなどを夢中で追いかけています。中には、ダンゴムシやクモを大切に集めている子どももいます。

誰かが虫を捕まえると、その周りに友達が集まり、「すごい！」「見せて！」と歓声が上がります。捕まえた虫をみんなで観察しながら、生き物への興味や関心を自然と深めている様子が見られます。

生活科や理科では、季節の移り変わりや生き物の様子について学習していますが、こうした日常の体験も大切な学びにつながっています。今の季節ならではの自然とのふれあいを、これからも大切にしてほしいと思います。






【9 月 17 日（木)】 今日の「バタフライエフェクト！」

本日は見事な秋晴れとなりました。明日の体育祭予行練習を前に、生徒たちのボルテージも高まっています。選択種目、学年練習、全校演技、応援練習と盛りだくさんの一日でしたが、どの活動にも真剣に取り組む姿が見られました。

そして、その頑張りを支えている人たちがいます。体育科の教員は朝早くからグランドのライン引きをおこない、昨日ご紹介した大学生の梨川さんは、玉入れ籠の支柱の修繕を丁寧に行っていました。また、特別支援教育支援員さんや通級担当の教員は、長時間にわたってグラウンドの草引きを行っていただいたり、生徒たちの活動を見守っていただいたりしています。さらに、生徒用昇降口付近には、毎日、先生方から東っ子たちへの「愛あるコメント」が掲示されています。そのコメントには個人名も記されています。良いことばかりが書かれているのかと思いきや、時にはなかなか手厳しい内容が記されることもあります。しかし、その一つ一つには生徒の成長を願う先生方の深い愛情が込められています。まさに愛ある叱咤激励のメッセージです。東っ子たちは毎朝そのコメントに目を通し、励まされたり、自らを振り返ったりしながら、その日一日のモチベーションを高めています。この「愛あるコメント」は、東中学校の温かな校風と、生徒と先生方との強い信頼関係を象徴する取組の一つとなっています。

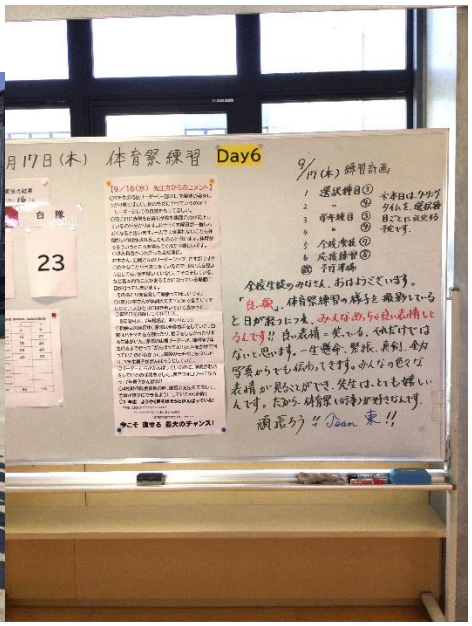
体育祭当日、生徒たちが躍動する姿に目が向きます。しかし、その舞台を整えるために、多くの人が見えないところで汗を流しています。一人一人の小さな行動や思いやりがつながり、やがて大きな力となって学校全体を支えているのです。

生徒の頑張りを陰ながら支える人々の心意気。そこにもまた、「バタフライエフェクト」が息づいています。小さな善意の羽ばたきが、やがて大きな感動を生み出す。そんな温かな学校の姿を、今日も見ることができました。








月17日(木) 体育祭練習 Day6
9/17(木) 練習計画
白隊
23
全校生徒のみなさん、おはようございます。
「位・級」、体育祭練習の様子を観察していると
ても良い表情=笑っている、それだけではないと思います。一生懸命、緊張、真剣、全力
写真からでも伝わってきます。みんなの色々な
表情が見たいがです。先生はとても嬉しいんです。だから、体育祭の練習が好きなんです。
頑張ろう!! Team 東!!

【９月１８日（金）】菊池省三先生をお迎えして道徳教育研修会を実施しました

今年度、東小学校・東中学校は「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクトの研究指定校として、道徳教育の充実に向けた研究を進めています。その取組の一環として研究授業を行い、「ほめ言葉のシャワー」の実践で広く知られる教育実践研究家の菊池省三先生を指導助言者としてお迎えしました。

当日は、まず５年生の研究授業を参観していただき、その後、６年生を対象に菊池先生による師範授業が行われました。

師範授業では、授業が始まるとすぐに６年生のよさを認める言葉をかけられ、子どもたちの意識を一気に授業へと引き込まれました。そして、道徳の学習において大切な他者理解や多様性の理解につながるキーワードとして、「一人ひとり違っていい」「ひとりぼっちをつくらない」という言葉を投げかけられ、互いの考えを安心して伝え合える温かい雰囲気をつくられました。

また、人間だけがもつ力として「想像力」の大切さを挙げられ、「相手の気持ちや立場を想像しながら生活してほしい」と子どもたちに語りかけられました。子どもたちは友達の考えに耳を傾けながら、自分の考えを積極的に発表し、活発な意見交換を行っていました。

今回は、全国的に著名な菊池先生の授業や講話を学ぶ貴重な機会として、岩国市内の小学校の初任者教員も研修に参加されました。参加者は、菊池先生が大切にされている「コミュニケーション力」の育成や、安心して話し合える学級づくりのポイントについて多くのことを学んでいました。

本校教職員にとっても、道徳科の学習を支える学級づくりや、子ども同士が認め合い、学び合う関係づくりについて多くの示唆をいただく大変有意義な研修となりました。今後は、今回の学びを日々の教育活動に生かし、心豊かな子どもの育成に努めていきたいと思います。











【９月２４日（木）】連休明けの[バタフライエフェクト！」

　シルバーウイーク明けの体育祭練習。本日の１時間目は各学年の学年練習でした。連休明けにもかかわらず、体育祭本番を２日後に控えた東っ子たちは、元気いっぱいに練習に取り組んでいました。

　中でも、やはり９年生の気迫と活気はひと味違います。大きな声で仲間を鼓舞しながら練習をリードする姿は、さすが東中学校の最高学年です。

　本日は、この後も２時間目に全校演技、３時間目に全校演技と選択種目、４時間目に選抜リレー、午後からは応援練習を予定しています。

　東中学校は、結果だけではなく、そこに至るまでの準備や過程を大切にしています。一人一人が仲間と力を合わせ、悩みながらも成長していく姿こそが体育祭の大きな価値です。

　本番まであと２日。日に日に高まる東っ子たちの熱気と頑張りを、ぜひ練習風景からも感じていただければ幸いです。どうぞご覧ください。










【９月２５日（金)】今日の「バタフライエフェクト！」

いよいよ明日は体育祭。本日、東っ子たちは９月 18 日（金）の予行練習で見つかった課題を一つ一つ確認しながら修正練習を行い、応援練習でも最後の仕上げに取り組みました。本番を目前に控え、どの学年も気持ちのこもった最終確認ができたように感じます。

前日準備では、係活動が早く終わった後、「草引きを手伝います。」と自ら声を掛けてくれた９年生の廣本さん、藤井さんの姿に感激しました。誰かに言われたからではなく、自分たちにできることを考えて行動する。その姿に、東中生らしい成長と頼もしさを感じました。

全体ミーティングでは、この体育祭に向けて積み重ねてきた準備や練習の様子を振り返る動画を上映しました。「過程と準備」を大切にしてきた東っ子たちの足跡が映し出されるたびに、会場には温かな空気が流れ、本番に向けた士気も大いに高まりました。

放課後のグラウンドでは、実行委員の生徒たちが最後の確認作業に取り組んでいました。さらに、実行委員の中から「少しでもよい環境で体育祭を迎えたい」と、ボランティアで会場整備をしてくれる生徒もいました。見えないところでも仲間や学校のために力を尽くしてくれた実行委員のみなさん、本当にありがとう。

そして、この体育祭を支えていただいた地域の皆様にも感謝申し上げます。練習期間中は放送や音楽、生徒たちの元気な声などでご迷惑をおかけしたことと思います。それにもかかわらず、一件の苦情もなく温かく見守っていただきました。地域の皆様のご理解とご協力があったからこそ、ここまで準備を進めることができました。心より感謝申し上げます。

明日は、これまで積み重ねてきた努力の成果を発揮する日です。勝敗だけではなく、仲間とともに創り上げてきた過程を大切にしながら、一人一人が輝く東中体育祭になることを願っています。どうぞご期待ください。

















【９月２５日（金）】～４年生と3年生の交流学習「ころころガーレ」～

４年生が図画工作科の授業で制作した「ころころガーレ」を使って、３年生との交流学習を行いました。

「ころころガーレ」は、各階にさまざまな障害物や仕掛けを設置し、上の階からビー玉を転がしてゴールまで導く作品です。子どもたちは工夫を凝らしながら、自分だけのコースを作り上げました。

交流学習では、４年生が3年生に自分の作品を紹介しながら、「ここが工夫したところだよ。」「ぜひやってみてね。」などと声をかけ、楽しく遊んでもらえるように関わる姿が見られました。3年生は、４年生のアイデアあふれる作品に感心しながら、ビー玉を上手に転がして楽しんでいました。

異年齢で学び合う活動には、多くのよさがあります。下学年にとっては、上級生の姿を身近に見ることで、これからの自分の成長した姿を思い描くことができます。一方、上学年にとっては、自分自身の成長を実感するとともに、下学年のお世話をする中で責任感や思いやりの心を育むことができます。

このような交流活動を積み重ねながら、小中９年間を見通した学びと成長のつながりを大切にしていきたいと思います。






【９月２６日（土）】全力飛翔～東中の誇りを胸に、未来へ羽ばたけ～

　本日の体育祭は、天候の影響により雨が降り出すことが予想されますが、生徒たちのこれまでの努力の成果を発揮する場を確保するため、プログラムを一部変更して実施します。

　東っ子一人一人がこれまで積み上げてきた力を存分に発揮し、心に残る一日になることを願っています。保護者・地域の皆様におかれましては、安全面に十分配慮しながらの運営となりますことをご理解いただき、温かいご声援をいただければ幸いです。

　さあ、東っ子たちの挑戦の一日が始まります。雲を吹き飛ばすような元気と笑顔に、どうぞご期待ください。「バタフライエフェクト！」



【９月２６日（土)】体育祭本番「バタフライエフェクト！」

本日の体育祭は、朝から雨が降る中での開催となりました。開催にあたっては、近隣中学校とも情報交換を行いながら慎重に判断を進めました。天気予報では今後さらに天候が悪化することが予想され、予備日についても雨模様の予報が出ていました。そのような状況を踏まえ、生徒たちのこれまでの努力や練習の成果をできる限り発揮させてあげたいという思いから、開催を決定しました。

一方で、最も優先すべきは生徒の安全面です。そのため、当初予定していたプログラムを一部変更し、応援合戦や全校演技を前倒しして実施しました。例年、開会前に行っていた「教職員から生徒へのエール」も取りやめ、とにかく天候の悪化に備えながら、一つでも多くの種目が実施できるよう工夫を重ねました。徒競走についても難しい判断を迫られました。当初は中止を考えていましたが、実行委員長の思いに耳を傾け、カーブをなくした直線コースで実施することにしました。濡れたトラックでのカーブ走行は転倒やけがの危険性が高く、安全面から種目を削減する案もありました。最終的には様々な意見を踏まえ、校長として判断を行いました。

近隣の中学校においても、すべてのプログラムを予定どおり実施した学校はなく、徒競走を中止した学校や応援合戦のみを実施した学校もありました。そのような中、本校は可能な限り生徒たちの活躍の場を確保しながら体育祭を進めることができました。

もちろん、生徒たちの中には「もっとやりたかった」「完全燃焼できなかった」という思いを抱いている人もいることでしょう。その気持ちは十分に理解しています。しかし、人生には自分の思いどおりにならないことがあります。自然を相手にする以上、なおさらです。そうした状況の中で、自分たちにできることを考え、仲間と力を合わせながら最善を尽くすことも大切な学びの一つです。

何より、大きなけがや事故なく体育祭を終えることができたことをうれしく思います。大半の生徒が雨にも負けず最後まで全力を尽くして取り組んでいました。そんな東っ子たちを誇りに思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様、ご来賓の皆様には、悪天候の中にもかかわらず最後まで温かいご声援をいただき、誠にありがとうございました。また、開催にあたりご理解とご協力をいただいた保護者の皆様にも心より感謝申し上げます。天候には恵まれませんでしたが、東っ子たちのひたむきな姿、仲間を応援する声、そして最後まであきらめずに挑戦する姿勢は、晴天にも負けない輝きを放っていました。今日の経験が、これからの人生を歩んでいく上での確かな力になることを願っています。















【９月２８日（月）】初めての全校練習

　中学校の体育祭が終わり、いよいよ小学校の運動会練習も本格的に始まりました。

　今日は、全校児童が初めてそろい、運動会の開会式・閉会式の練習を行いました。全校で集まると、それぞれの学年の成長ぶりがよく分かります。特に５・６年生は、高学年としての自覚をもち、整然とした態度で練習に取り組んでいました。また、２年生の姿からも、この１年間での大きな成長を感じることができました。

　これからは、本番を意識した練習がさらに増えていきます。子どもたちは、一つ一つの練習に真剣に取り組みながら、運動会当日に向けて力を高めていくことでしょう。

　保護者や地域の皆様に、練習の成果と頑張る姿を見ていただけるよう、子どもたちはこれからも力いっぱい挑戦していきます。本番での活躍をどうぞ楽しみにしていてください。







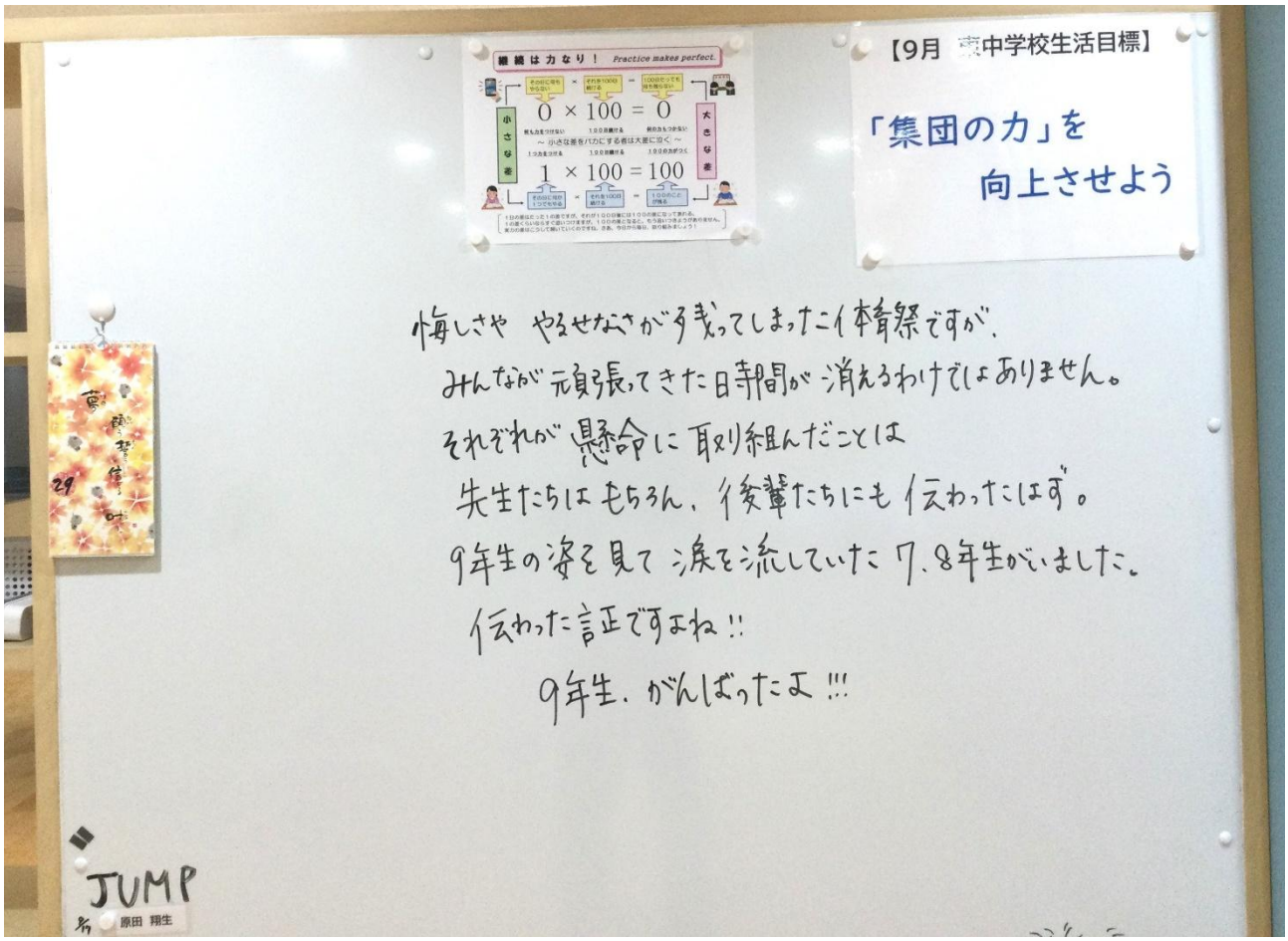
【９月２９日（火)】「後の祭り」にしないために

「祭りの後」日常が戻ってきました。９年生の学年ボードには、学年主任の思いが綴ってありました。私は、この文章に東中が大切にしていることが凝縮されているように感じました。

教員が発する感性（思い）と、生徒が受け取る感性（思い)。そのすべてが一致するとは限りません。しかし、一生懸命取り組む姿は必ず誰かの心を動かします。９年生の頑張りは、確かに後輩たちに伝わっていました。

だからこそ、「祭りの後」を「後の祭り」にしてはならないのです。体育祭の真価が問われるのは、実はこれからです。この経験から何を学び、次の学校生活にどう生かしていくのか。行事を単なる思い出で終わらせず、次の成長につなげていくこと。それが東中学校にとって最も大切なことだと思っています。

体育祭は終わりました。しかし、東っ子たちの成長の物語は、まだまだ続きます。今回の悔しさも達成感も、すべてを力に変えながら、未来へ羽ばたいてほしいと願っています。東中学校の本当の挑戦は、これからです。



【９月２９日（火）】新聞紙から広がる創造の世界

４年生が図画工作科の授業で、造形遊び「組んで立ててつなぐんぐん」に取り組みました。この活動は、細長く丸めた新聞紙を組み合わせて、立体的な作品をつくる学習です。

子どもたちは、家やテント、キャンプファイヤー、旗などを思い思いにイメージしながら、新聞紙の棒を組み立てていきました。棒と棒をつなぐためにはひもを使いますが、立体的な形にするためには、一人ではなかなかうまくいきません。そのため、子どもたちは自然と友だちに声をかけ合い、「ここを持って」「もう少し上げてみよう」などと協力しながら活動を進めていました。

完成した作品には、それぞれのアイデアや工夫がたくさん詰まっており、子どもたちの豊かな発想力に感心させられました。また、作品づくりを通して友だちと関わり合いながら学ぶ姿も多く見られ、協力することの大切さを実感できる時間となりました。

造形遊びでは、子どもたちの柔軟な発想や創造性、そして仲間と協力する力が育まれます。これからも様々な活動を通して、一人ひとりのよさや可能性をさらに伸ばしていきたいと考えています。

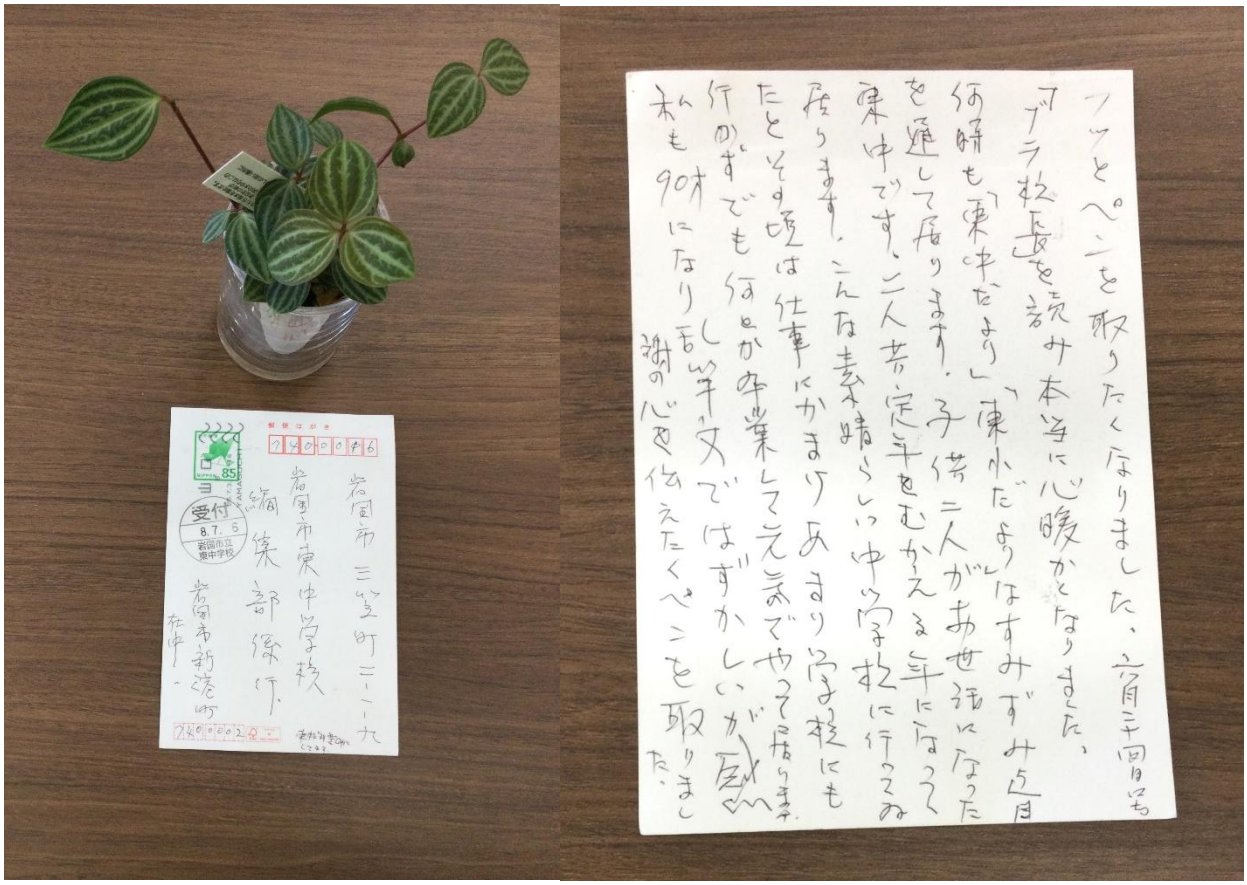








【９月３０日（水）】一枚のはがき



フツとペンを取りたくなりました。６月２４日号の『ブラ校長』を読み、本当に心暖かくなりました。何時も『東中だより』『東小だより』はすみずみ迄目を通して居ります。子供二人がお世話になった東中です。二人共定年をむかえる年になって居ります。こんな素晴らしい中学校に行っていたその時は、仕事にかまけあまり学校にも行かず、でも何とか卒業して元気にやって居ります。私も９０才になり乱筆文ではずかしいが、感謝の心を伝えたくペンを取りました。」

残念ながら、お名前もご住所も詳しく記されておらず、お礼をお伝えすることができません。しかし、この一枚のはがきに込められた温かな思いは、確かに私たち教職員の心に届きました。

お子様が東中学校を卒業されてから、およそ半世紀。にもかかわらず、今なお東小・東中学校のことを気にかけ、学校だよりやホームページに目を通してくださっていることに、深い感謝の気持ちでいっぱいになりました。

学校は、在校生や保護者だけのものではありません。卒業生や地域の皆様、そして長年にわたり子どもたちの成長を見守ってくださっている方々の思いによって支えられているのだと、改めて気づかせていただきました。

９０歳になられた方が、「感謝の心を伝えたくてペンを取った」と綴ってくださったこと。その事実だけで、私たちにとっては何よりの励ましです。教職員にも回覧しましたが、多くの職員が心を温められ、東っ子たちへの教育に携わる責任と喜びを改めて感じる機会となりました。

差出人の方に直接お礼を申し上げることはできませんが、この場をお借りして心より感謝申し上げます。そして、この一枚のはがきからいただいた愛情と期待を胸に、これからも東っ子たち一人一人にしっかりと愛情を注ぎ、その成長を支えていきたいと思います。

まさに、私たち教職員の覚悟を新たにしてくれた、かけがえのない一枚のはがきでした。

【９月３０日（水)】和太鼓の迫力に魅了された鑑賞教室

本日、周防大島を拠点に活動されている和太鼓集団「源～orijin～」の皆様をお迎えし、鑑賞教室を開催しました。

初めて和太鼓の演奏を目にする児童もおり、その迫力ある音や機敏で力強い動きに驚きながら、真剣な表情で見入っていました。演奏が始まると、子どもたちは手拍子をしたり、リズムに合わせて体を動かしたりしながら、和太鼓の魅力に引き込まれていました。

今回の演奏を通して、動きの切れや美しさ、みんなで音や動きを合わせることの大切さ、そして音の強弱による表現の豊かさなど、多くのことを学ぶことができました。これらは運動会での集団演技や、４年生の音楽会に向けた取組にも大いに参考になることと思います。

子どもたちには、仲間と心を合わせて表現することのかっこよさや素晴らしさを、これからのさまざまな活動に生かしてほしいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な機会を提供してくださった和太鼓集団「源～orijin～」の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。







